

おわせ+

プラス

第11号

2016.4月発行

「紀北町 河津桜」

ホツと
プラス

最新情報

新任医師を紹介します



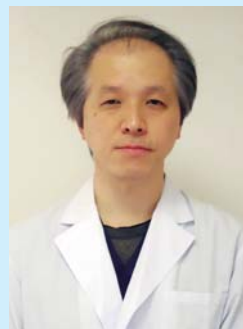
外科部長として 赴任いたしました

今年の1月から、尾鷲総合病院外科部長として赴任いたしました金兒博司です。前任の濱田医師と入れ替わる形で、鈴鹿中央総合病院から転勤となりました。

肝胆臓・消化器外科を専門としますが、乳腺外科や必要に応じて消化器内科、腫瘍内科領域でもお役に立てればと思います。また、近年普及が目覚ましい腹腔鏡手術の積極的な導入や、統括 DMAT (Disaster medical assistance team) の資格を生かし、災害医療でも貢献できれば幸いです。

まだ赴任2か月の現在、慣れないことも多く、また花粉症にも日々悩まされている状態ですが、地域の先生方とも連携して頑張っていきたいと思えます。よろしく願いいたします。

金兒 博司 医師



〈所属学会〉
日本外科学会
日本消化器病学会
日本消化器外科学会
〈資格等〉
臨床研修指導医
日本外科学会外科専門医
日本消化器病学会専門医
日本消化器外科学会認定医
検診マンモグラフィー読影認定医
ICD(インфекションコントロールドクター)
統括DMAT 等

ほすぴたる プラス

「ご挨拶」

Hospital plus

病院長就任につき introduction

このたび2016年4月1日に尾鷲総合病院病院長に就任しました小藪助成でございます。皆様にご挨拶を兼ねて私の紹介をさせていただくと共に皆様へのお願いがございます。

私は三重大学を1990年に卒業し、三重大学第一内科に入局いたしました。当院には、1996年3月に赴任し20年の月日が経過いたしました。

現在、日本は人口減少と高齢化社会の本番を迎えようとしており、尾鷲市においても5年間で人口が約2000人減少し、高齢化率も40%を超えるなど少子高齢化が進んでいます。このような中で、東紀州医療圏の医療を担う中核病院として、尾鷲総合病院の役割を行政はもとより、市民の皆様と共に考えていくことが必要な時期となっており、皆様のご理解とご協力が益々必要となっております。

また、地域における医師不足は深刻で、地域に定着していただける医師がいないことを嘆く声も聞いておりますが、実際、この地域出身の医師が当地に赴任していただけないのも事実であります。

本年度より、三重大学医学部の地域医療推薦枠、第1回卒業生が研修医として当院に勤務いたします。

国としては、この地域医療枠出身の医師が地域で活躍してくれることを期待しており、地元で医師とし

てやりがいを持てるよう、暖かく見守っていただけようお願い申し上げます。

私は、病院長の職務を全うするには若輩者でございますが、加藤弘幸病院長代行をはじめ病院職員一同、力を合わせ努力する所存であります。皆様の暖かいご支援、何卒よろしくようお願い申し上げます。



病院長 小藪 助成

略歴

- 1990.3 三重大学医学部卒業
- 1990.3 三重大学医学部第一内科入局
- 1991.7 尾鷲総合病院内科医員
- 1997.4 尾鷲総合病院透析医長
- 2003.4 尾鷲総合病院透析センター部長
三重大学医学部臨床助教授兼務
- 2009.4 三重大学医学部臨床教授
- 2010.6 尾鷲総合病院副院長
- 2016.4 尾鷲総合病院病院長就任

〈所属学会〉

- 日本内科学会
- 日本循環器学会
- 日本心臓病学会
- 日本透析医学会
- 日本心臓リハビリテーション学会
- 日本抗加齢医学会

〈資格等〉

- 総合内科専門医・指導医
- 循環器専門医
- 日本透析医学会専門医・指導医
- 日本抗加齢医学会専門医
- 日本医師会認定産業医
- 心臓リハビリテーション指導医



information じょうほうプラス

出前講座を行いました

平成27年11月6日(金)倉ノ谷集会所、12月7日(月)大曾根コミュニティセンターにて「ロコモ予防で、健康長寿。元気で素敵な明日のために！」をテーマに理学療法士の大川 光 先生が出前講座を行いました。当日は、倉ノ谷集会所 14名、大曾根コミュニティセンター 11名の地域住民の方々に参加して頂き、ロコモーショントレーニングや棒体操などを交えながら楽しい出前講座となりました。



ロコモティブシンドローム - 運動器症候群 - とは？

骨、関節、筋肉などの運動器の働きが衰えると、くらしの中の自立度が低下し、介護が必要になったり、寝たきりになる可能性が高くなります。運動器の障害のために、要介護になっていたたり、要介護になる危険の高い状態がロコモティブシンドロームです。

7つのロコチェック



- | | | |
|-----------------------------|-------|--------------------------|
| 1. 片足立ちで靴下をはけない。 | チェック欄 | <input type="checkbox"/> |
| 2. 家の中でつまずいたり、滑ったりする。 | チェック欄 | <input type="checkbox"/> |
| 3. 階段を上がるのに手すりが必要である。 | チェック欄 | <input type="checkbox"/> |
| 4. 横断歩道を青信号で渡りきれない。 | チェック欄 | <input type="checkbox"/> |
| 5. 15分くらい続けて歩けない。 | チェック欄 | <input type="checkbox"/> |
| 6. 2Kg程度の買い物をして持ち帰るのが困難である。 | チェック欄 | <input type="checkbox"/> |
| 7. 家のやや重い仕事が困難である。 | チェック欄 | <input type="checkbox"/> |



ひとつでも当てはまれば、ロコモティブシンドロームの心配があります。今日からロコモーショントレーニングを始めましょう!!



ロコトレ その1 開眼片脚立ち

転倒しないように必ずつかまるものがある場所で行います。床につかない程度に片脚を上げます。左右1分間ずつ、1日3回行いましょう。
※支えが必要な人は、医師と相談して机に手や指をつけて行います。

ロコトレ その2 スクワット

椅子に腰掛けるように、お尻をゆっくり下ろします。お尻を軽く下ろすところから始めて、膝は曲がっても90度を超えないようにします。
※安全の為に椅子やソファの前で行いましょう。膝がつま先より前に出ないようにします。

外来担当医表 平成28年4月1日現在

診療科		月	火	水	木	金	備考
内科	1診	石山 将希	大杉 和生	為田 雅彦	奥田 奈央子	藤川 勝彦	ペース メーカー 第1月曜日 小藪 助成
	2診	吉澤 尚彦				為田 雅彦	
	循環器内科(予約)		石山 将希	小藪 助成	世古口 茂幸	大杉 和生	
CAPD			小藪 助成				
透析		大杉 和生	小藪 助成	大杉 和生	大杉 和生	小藪 助成	
カテーテル検査					石山 将希 増田 純		
健康診断		小藪 助成			小藪 助成		
外科	1診	金兒 博司	加藤 弘幸	加藤 弘幸	加藤 弘幸	出崎 良輔	
	2診		出崎 良輔				
乳腺外来(奇数月の第4週予約制)		三重大学 小川教授					
呼吸器外科				金田 正徳	金田 正徳		
胃カメラ		出崎 良輔	為田 雅彦	消化器内科医師 ※奇数月は木曜日		加藤 弘幸	
大腸内視鏡		外科医師		消化器内科医師 ※奇数月は木曜日		為田 雅彦	
整形外科	1診(初診)	國分 直樹	第1.3.5週 中川 第2.4週 國分	●中川 太郎	三重大学医師	三重大学医師	●10時～ 診察開始
	2診(予約)	中川 太郎		●國分 直樹		中川 太郎	
	3診(予約)					國分 直樹	
小児科	午前	川口 寛	川口 寛	川口 寛	川口 寛	川口 寛	
	午後 (予約)	ワクチン 外来	慢性外来	ワクチン 外来		乳児健診	
産婦人科		野村 浩史	野村 浩史	野村 浩史	野村 浩史	野村 浩史	
耳鼻咽喉科				三重大学医師	今西 義宜		
眼科		玉置 力也	玉置 力也	玉置 力也	玉置 力也	玉置 力也	木曜日 第1週目のみ 三重大学医師
皮膚科	午前	前田 吉民	前田 吉民	前田 吉民	前田 吉民	前田 吉民	
	午後 (13時半～15時半受付)			前田 吉民			
泌尿器科		吉尾 裕子	佐谷 博之	佐谷 博之	佐谷 博之	佐谷 博之	
放射線科(予約制)						三重大学 野本教授	
精神科(小児のみ)(予約制)			(第4週) 大槻 一行			(第2週) 中西 大介	
神経内科(予約制)				三室 マヤ		伊井裕一郎	
脳神経外科			栃尾 廣		田中 公人		

※学会等で休診または代診になる場合がありますので、お問い合わせください。

みなさまの声を聞かせください

本誌へのご感想やご意見、ご要望などございましたら、院内に設置されている患者さんの声に投稿いただくか、お気軽にご連絡ください。

お問い合わせ先：尾鷲総合病院
owase-hp@city.owase.lg.jp
TEL 0597-22-3111



病院の理念

- 高度医療に対応できる東紀州地域の中核病院
- 地域の保健・医療・福祉との連携を促進し、地域の人々と共に創る病院
- 患者様に信頼され、いつでも安心して受診していただける患者様主体の総合病院
- 教育、研修機能を持つ病院
- 質の高い医療技術とサービスを提供する病院
- 職員一人ひとりが、病院の将来ビジョン・経営について考える病院